

## 令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録

### 1 目的

今年度の学校経営計画及び運営方針に基づいた指導成果指標、各分掌の重点目標や各種取組内容等について報告する。

また来年度に向けた計画立案の際の御助言等を委員の方々から頂戴し、地域に開かれた特色ある学校づくりをより一層推進するとともに学校活性化のための方策について共に考え、本校教育の充実・発展に寄与する。

### 2 日時

令和7年2月20日(木) 14:00～15:30

### 3 場所

本校大会議室

### 4 出席者

会長 渡 邊 学 様 (岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研究センター助教)  
副会長 畠 山 栄 一 様 (新岩手農業協同組合常務理事)  
委員 高 橋 成 周 様 (滝沢市立滝沢第二中学校副校長) 代理出席  
委員 柵 山 和 代 様 (前PTA役員)  
委員 川 村 尚 雄 様 (滝沢市川前自治会長)  
委員 鈴 木 稔 様 (セブンスヘブンファーム代表取締役)  
委員 近 藤 修 三 様 (滝沢里山研究会事務局長)

(鳥居 薫委員、高橋正明委員、藤澤信也委員、田山千晶委員は欠席)

#### 【本校職員】

校 長	菊 池 郁 聡	動物科学科主任	(菊 池 文 明)
副 校 長	川 口 史 朗	植物科学科主任	今 野 直 美
副 校 長	市 丸 成 彦	食品科学科主任	(藤 本 正 彦)
事 務 長	福 田 隆	人間科学科主任	日 山 玲
総 務 主 任	勝 又 靖 (兼 委員)	環境科学科主任	河 野 裕
教 務 主 任	金 野 美 香	特別専攻科主任	谷 地 禎 彦
生徒指導主事	北 山 安 貞		
進路指導主事	藤 本 正 彦 (代理)		
舎 監 長	佐 藤 恒 顕		
保 健 主 事	木 戸 口 俊 子		
図 書 主 任	亀 井 敦 子		
農 場 長	菊 池 文 明 (兼 委員)		

### 5 次第及び内容(要旨)

#### (1) 開会

#### (2) 学校長挨拶

今年度は、本県を会場として農業クラブ全国大会が開催された。本校は大会事務局校であり、生徒が中心となって生徒実行委員会を運営し、成功させることができた。

感染症については、学級閉鎖の措置とした学級もあるが、学校全体に蔓延しないよう対策を講じており、現在は落ち着いている状況である。

本日は今年度の重点目標の達成状況や各課の取組内容等について報告し、委員の皆様より多角的なご意見を賜りたい。いただいたご意見を参考にして、地域と一体となった学校づくりをより一層進めていきたいと考えている。

### (3) 委嘱状交付

### (4) 報告

- ア 第75回日本学校農業クラブ全国大会令和6年度岩手大会（副校長）
- イ 部活動の大会成績（生徒指導主事）
- ウ 進路決定状況（進路指導主事）
- エ 「盛農我らの軌跡」（本校新聞等掲載紹介）（副校長）

[委員からの意見・質問事項及び回答内容]

#### 【B委員】

農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会とは、どのような内容か伺う。

#### 【副校長】

競技は作物、野菜、果樹、草花、畜産、食品、森林、農業土木、造園、生活の10分野で実施される。問題は各分野40問であり、出題形式は20秒の択一問題及び記述問題、40秒問題となっている。それぞれの分野について専門的な知識や技術を競う競技である。

#### 【F委員】

農業クラブ全国大会（岩手大会）の家畜審査競技会においては乳用牛の部のみの開催であり、肉用牛の部は開催されなかった。農業高校生の学びの成果を競う大会であることから、肉用牛の部についても開催するべきであった。それぞれの競技は実施基準が異なることから、今後、県内等で大会を開催する場合は、両方の競技を実施して畜産教育を充実させてほしい。

### (5) 協議

- ア 重点目標等達成状況（校長）
- イ 各課・科取組状況及び反省事項（各課・学科主任）
- ウ 「魅力化協働パートナー」との連携取組報告（各学科主任）
- エ 学校評価に係るアンケート集計結果（保護者・生徒）（副校長）
- オ その他

上記協議事項はすべて承認された

[委員からの意見・質問事項及び回答内容]

#### 【A委員】

近年、盛岡農業高校は学科により入学志願者数が異なる状況にあるが、学校全体の入学志願者数の確保に向けて、今後、学科改編等の予定があるか伺う。

#### 【校長】

本校は志願者数が募集定員を上回る学科もあるが、募集定員に満たない学科もある。学科改編は、県教育委員会が策定する再編計画に基づき行われるものである。

今後の県立高等学校の再編については、令和7年度内を目途に県教育委員会から方向性が示されることとなっている。

#### 【D委員】

自彊寮について、今年度の義務入寮の状況を伺う。

**【校長】**

新型コロナウイルス感染症対策のため、2年間にわたり義務入寮を中止して希望入寮生のみ入寮としていた。5類感染症に移行したことを受け、昨年度から義務入寮を再開したところであるが、本校における農業教育の状況に鑑み、動物科学科及び植物科学科は1年間の義務入寮を半年間に変更し、人間科学科は半年間の義務入寮を廃止した。

**【E委員】**

総務課の資料（15頁）によると、創立150周年事業に向けた準備委員会の立ち上げ時期が数年後に迫っている。周年行事に係る業務は多忙となることから、準備委員会を早めに立ち上げて当該年度に向けた活動を進めていくことが望ましいと考える。

**【C委員】**

生徒指導課の資料（15頁）から、高校においてもスマートフォン等の使用に関する指導が困難であることが推察される。中学校については約8割の生徒がスマートフォン等を所有しており、不適切な使用によるトラブルが発生している。トラブル防止に向けて、家庭と学校の両方で取り組むことが重要であり、幼稚園から高校まで継続した指導を確立させたいと考えている。中学校の指導を高校でも継続していくことが、不適切な使用によるトラブル防止に効果があると認識している。

**【A委員】**

- ・生徒指導課の資料（15頁）において、部活動の入部は任意とあるが、部活動に所属していない生徒はどの程度いるか伺う。
- ・校則改定に向けて生徒会活動が活発化したとあるが、校則の改定は生徒から要望が上がり検討するものか。また、改定の検討については、一部の生徒の考えで検討するものか、全校生徒の盛り上がりがある校則について検討するものか伺う。

**【生徒指導主事】**

- ・部活動に所属しない生徒は、全校生徒の1割程度である。
- ・校則の改定については、生徒の意見とあわせて保護者アンケートの意見等も勘案し、生徒と職員で検討を行うこととしている。

**【B委員】**

寮の居室にはエアコンが設置されていないとのことであるが、猛暑時等の体調管理のためにも整備するべきではないか。

**【事務長】**

県教育委員会にはエアコン設置の要望をしているところである。

**【A委員】**

学校評価に係る生徒アンケート集計結果において、「本校へ入学してよかったと思う」の項目はD評価の割合が高い。この回答結果は例年の傾向と同様か伺う。

**【副校長】**

今年度の盛農祭は、農業クラブ全国大会の実施時期と重なったため開催できなかった。生徒が楽しめる行事を行えなかったことも、低い評価がある要因と考えている。

**【E委員】**

動物科学科の資料（17頁）において、重点目標である地域との連携については、校外で

の活動が例年より少なかったと記載されているが、この理由を伺う。

**【動物科学科主任】**

農業クラブ全国大会の開催準備等により、十分な地域連携が図られない部分があった。来年度以降については、さらに地域との連携を深めた教育活動を展開したいと考えている。

(6) 委員の皆様から（提言、指導・助言等）

**【A委員（魅力化協働パートナー）】**

- ・農業クラブ全国大会は、本校の生徒にとって貴重な経験になったのではないか。
- ・魅力化協働パートナーとして、今年度は大学農場に高校生を招いて講義を行った。来年度についても、大学農場で農業に関する講義を行いたいと考えている。

**【B委員】**

J A新しいわてが発行する広報誌に、1月に開催した光の家クッキングフェスタの様子が掲載されている。このイベントには盛農生も参加しており、料理研究家等との交流は専門分野を学ぶ生徒にとってよい機会となったと思う。今後も、食に関するイベントを開催し、高校生が参加する機会を増やしたいと考えている。

**【D委員】**

- ・農業クラブ全国大会の運営は、本校の生徒たちにとって誇らしいことだったと思う。
- ・学校の様子について資料を拝見すると、時代の流れを取り入れながら学校運営に取り組んでいることが伝わった。部活動でも全国的に活躍しており、専門分野の学習では、魅力化協働パートナーの協力を得た成果もあったと感じた。

**【F委員（魅力化協働パートナー）】**

滝沢市グリーン・ツーリズム推進協議会の協力を得て、滝沢市内の中学生を対象とした農業体験学習を市内の農家で実施している。キャリア教育の一環として実施するとともに、地域農業の魅力を発信することも目的としており、酪農体験は当農園を会場に実施している。参加した中学生には盛農生も指導にあたり、高校生にとってもよい経験になっている。中学生は農業高校を理解する機会となっていることから、このような取組は大切である。参加した中学生には盛岡農業高校を進学先に考えている生徒もおり、今後の入学者の増加を期待している。

**【G委員】**

森林についての学びは支援することができるので、今後も木の魅力を生徒たちに伝える活動をしていきたい。また、盛岡農業高校の魅力も地域に発信できるよう協力したいと考えている。

(7) その他  
特になし

(8) 閉会